

# 熊本駅白川口(東口)駅前広場整備事業について

## 目次

1. 前回の振り返り
2. 整備範囲
3. コンセプト
4. デザインのイメージ
5. スケジュール

平成30年7月31日(火)

熊本市 熊本駅周辺整備事務所

# 1. 前回の振り返り

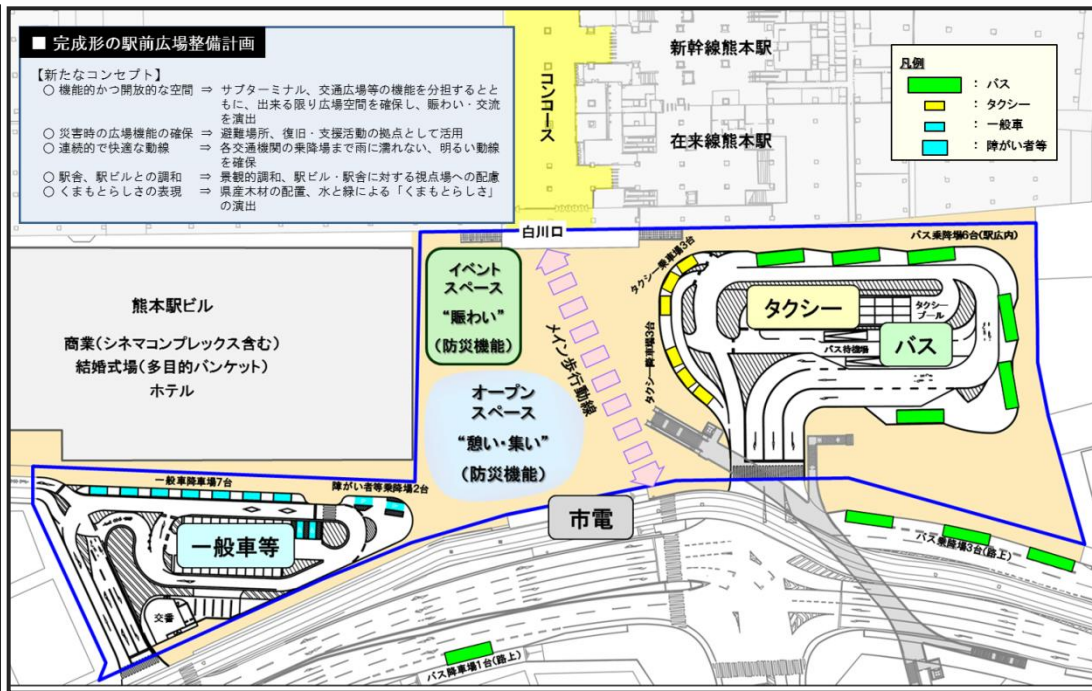
# 1.前回の振り返り

## ■開催日時

平成30年2月9日（金）13時30分～

## ■議題及び説明概要

- 1)これまでの取り組みについて
- 2)JR鹿児島本線等連続立体交差事業について  
⇒ 連立事業の進捗状況等を説明
- 3)熊本駅白川口(東口)駅前広場整備事業について  
⇒ レイアウト(案)の説明
- 4)その他



## ■主な意見

- ①白川口の駅広内に自転車は乗り入れできるのか？駅前を通行する自転車はどのような動線を考えているのか？
- ②駅広内で行うイベントの運営主体はどこになるのか？
- ③白川側から来た人などが電停横の横断歩道で渡れずによく溜まっているので解消して欲しい
- ④森都心へ行くのにペDESTリアンデッキを利用するが屋根を設置するなどもっと利活用しやすくして欲しい
- ⑤駅舎工事中の仮設通路や案内表示はバリアフリーや旅行者に配慮したものにして欲しい

## 2. 整備範囲



## 2.整備範囲



### 3. コンセプト

- ① 機能的かつ開放的な空間 ⇒ サブターミナル、交通広場等の機能を分担するとともに、出来る限り広場空間を確保し、賑わい・交流を演出
- ② 災害時の広場機能の確保 ⇒ 避難場所、復旧・支援活動の拠点として活用
- ③ 連続的で快適な動線 ⇒ 各交通機関の乗降場まで雨に濡れない、明るい動線を確保
- ④ 駅舎、駅ビルとの調和 ⇒ 景観的調和、駅ビル・駅舎に対する視点場への配慮
- ⑤ くまもとらしさの表現 ⇒ 県産木材の配置、水と緑による「くまもとらしさ」の演出

## 4. デザインのイメージ



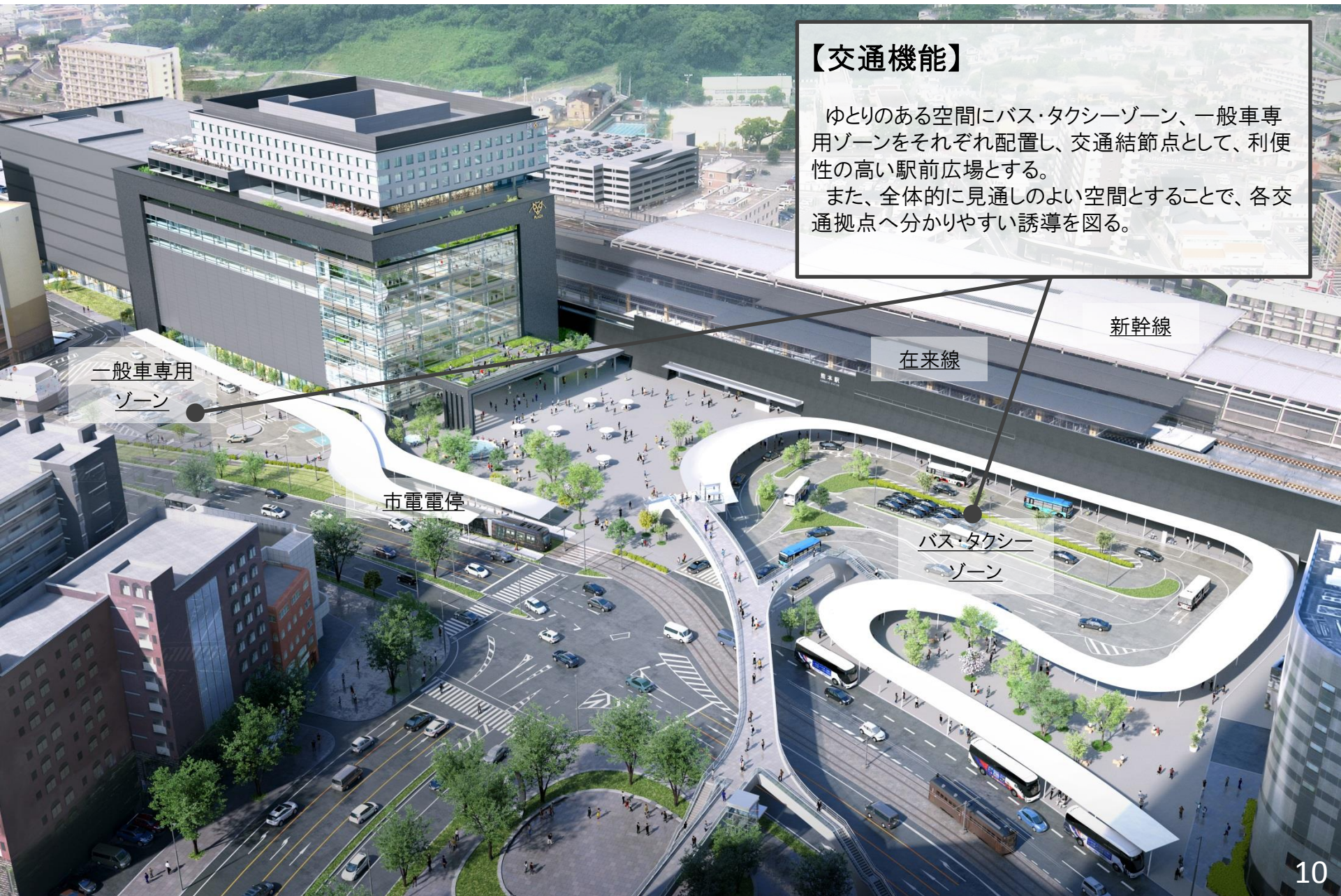
## 4.デザインのイメージ ～全体像～



※現在検討中の内容を含むため、今後変更になる可能性があります



## 4. デザインのイメージ ～①機能的かつ開放的な空間～



### 【交通機能】

ゆとりのある空間にバス・タクシーゾーン、一般車専用ゾーンをそれぞれ配置し、交通結節点として、利便性の高い駅前広場とする。

また、全体的に見通しのよい空間とすることで、各交通拠点へ分かりやすい誘導を図る。

一般車専用  
ゾーン

市電電停

在来線

新幹線

バス・タクシー  
ゾーン

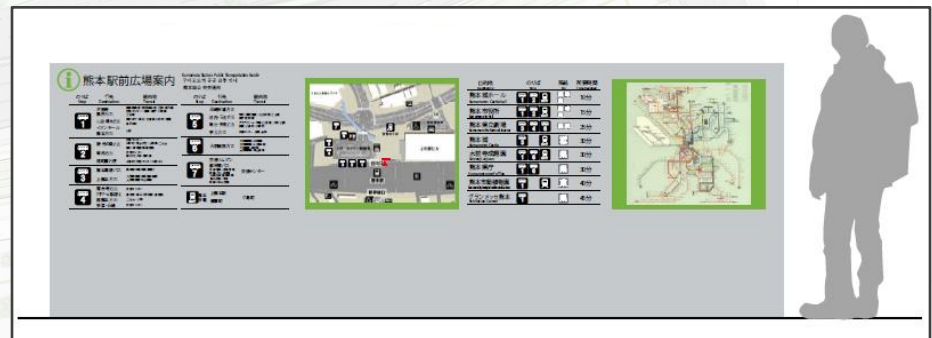


# 4.デザインのイメージ ～①機能的かつ開放的な空間～



## 【総合案内サイン】

白川口の交通機能や路線図、周辺案内、駅前広場案内を表示。電停やバス停のサインと連動し、分かりやすい誘導を図る。



総合案内サインのイメージ

高架下商業等  
(検討中)

熊本駅施設

肥後よかモン市場

駐輪場



## 4.デザインのイメージ ～①機能的かつ開放的な空間～



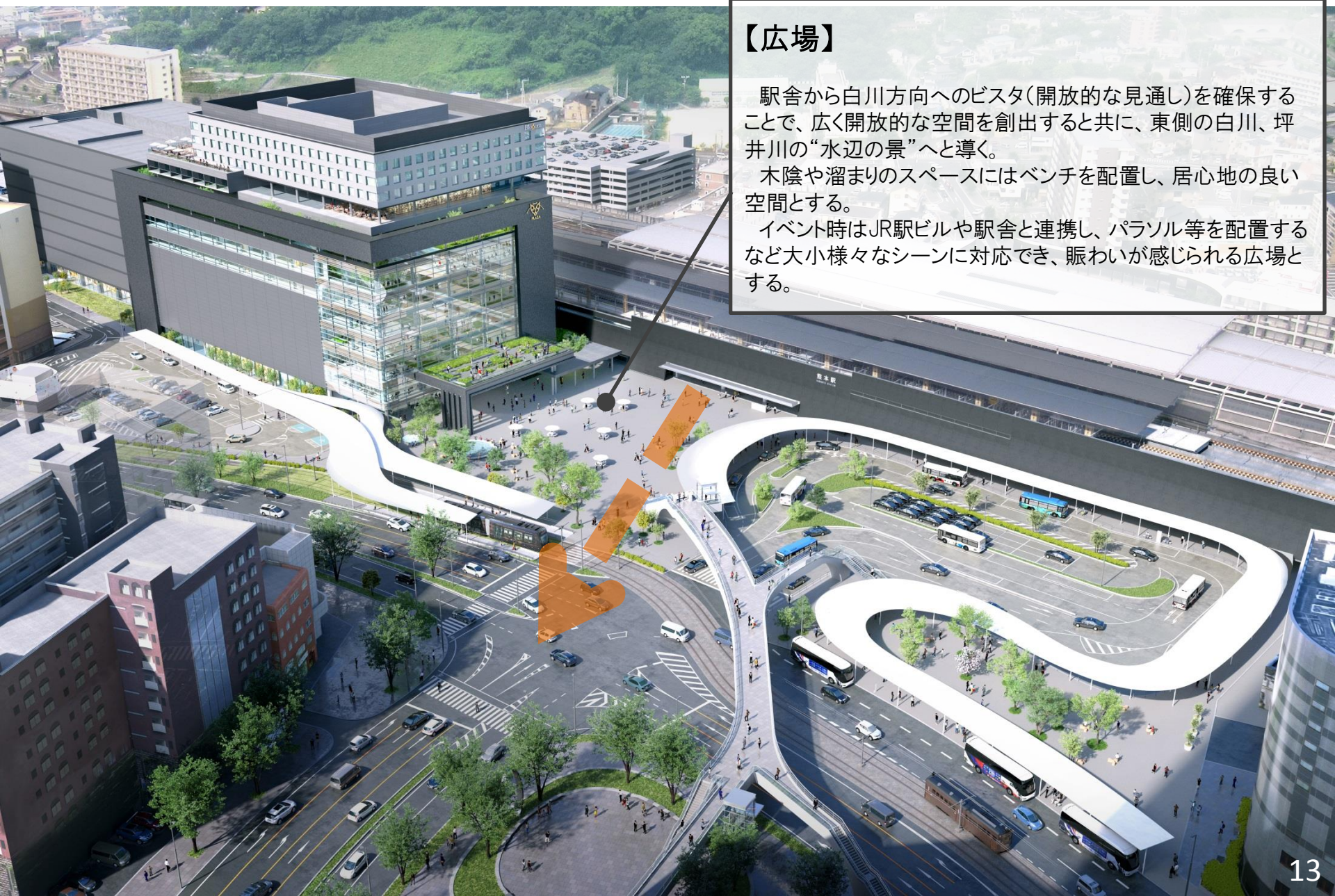
### 【サイン】

初めて訪れた人でも分かりやすいように、案内サインを適切に配置する。また、ユニバーサルデザインに配慮した表示とし、全体的に統一性のあるデザインとする。

乗降案内のサインは遠くからでも認識できるように色や大きさを工夫する。



## 4. デザインのイメージ ～①機能的かつ開放的な空間～



### 【広場】

駅舎から白川方向へのビスタ(開放的な見通し)を確保することで、広く開放的な空間を創出すると共に、東側の白川、坪井川の“水辺の景”へと導く。

木陰や溜まりのスペースにはベンチを配置し、居心地の良い空間とする。

イベント時はJR駅ビルや駅舎と連携し、パラソル等を配置するなど大小様々なシーンに対応でき、賑わいが感じられる広場とする。



## 4.デザインのイメージ ～①機能的かつ開放的な空間～

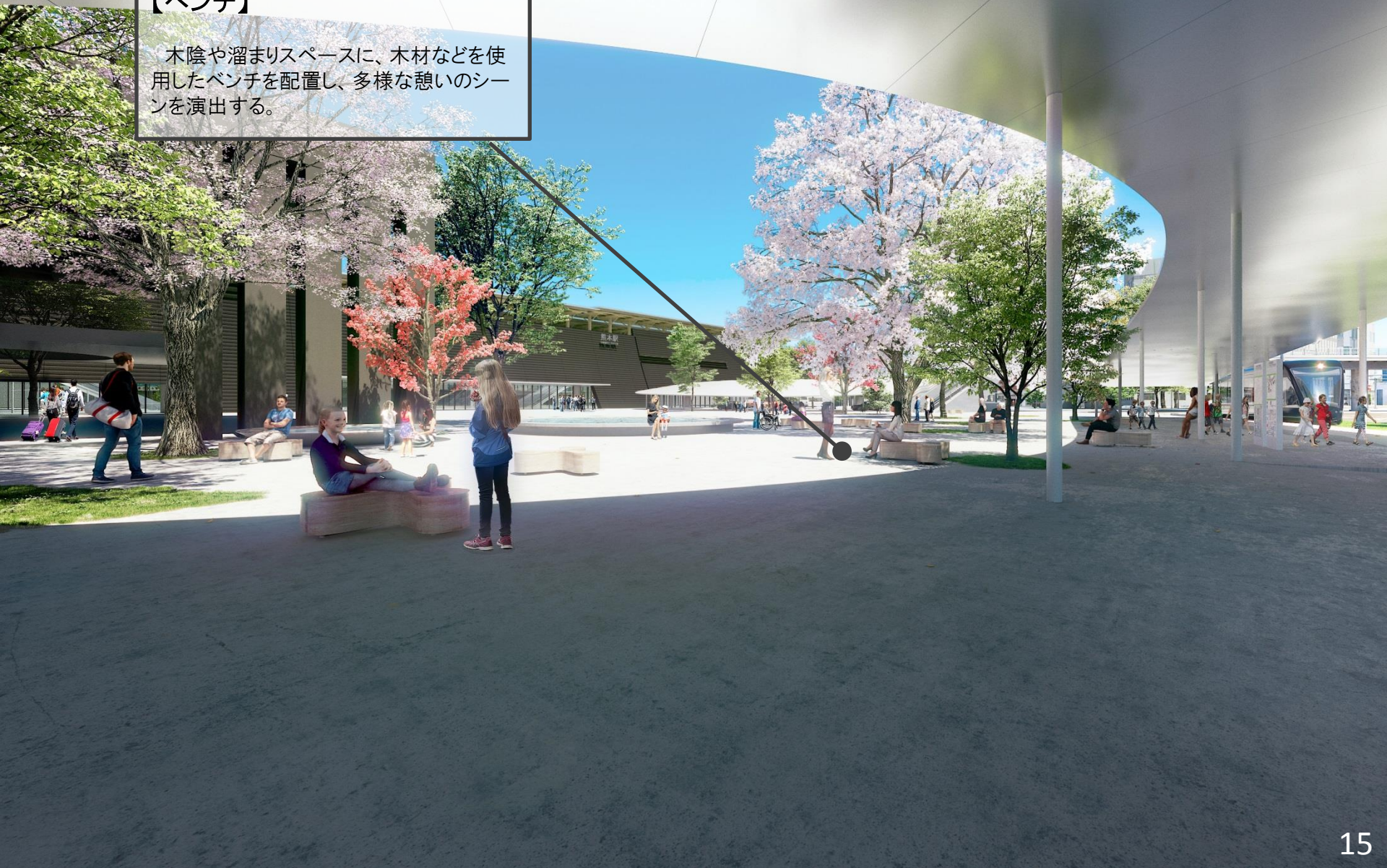




## 4.デザインのイメージ ～①機能的かつ開放的な空間～

### 【ベンチ】

木陰や溜まりスペースに、木材などを使用したベンチを配置し、多様な憩いのシーンを演出する。

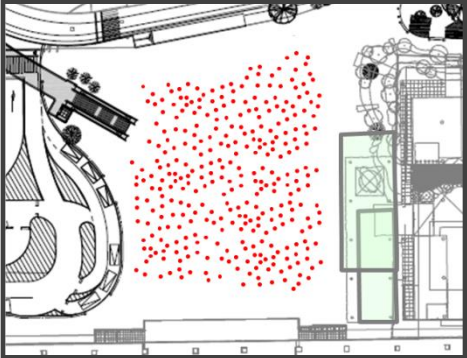




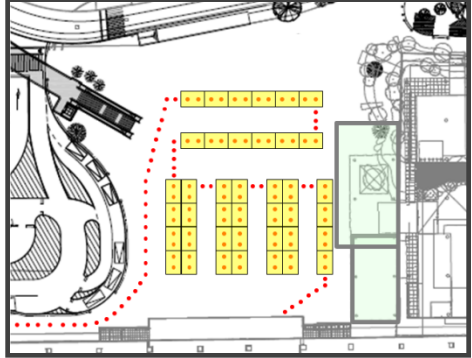
# 4.デザインのイメージ ～②災害時の広場機能の確保～



熊本地震時の益城町役場

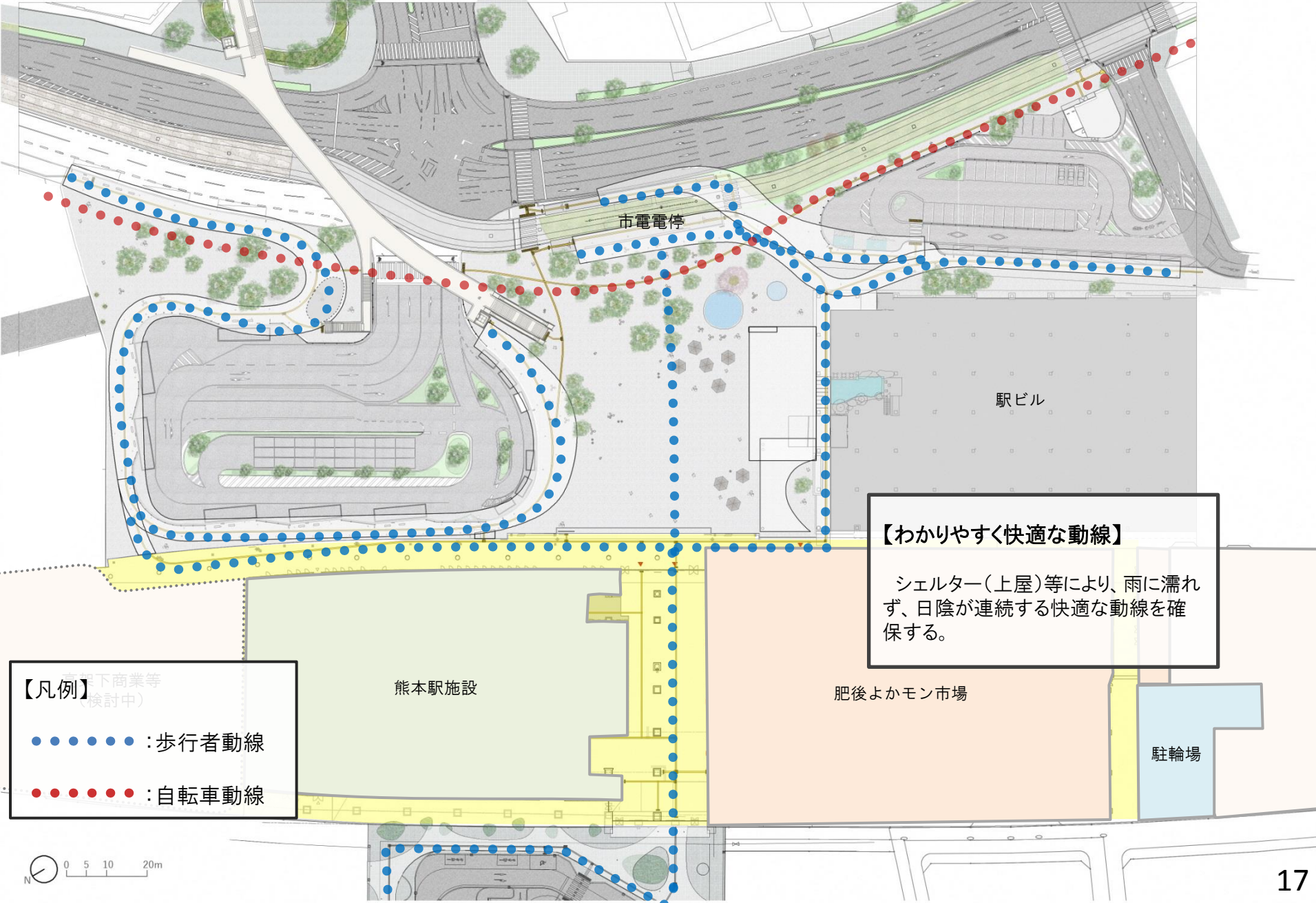


一時避難時の利用イメージ



復旧・復興活動拠点としての利用イメージ

# 4.デザインのイメージ ～③連続的で快適な動線～





## 4.デザインのイメージ ～③連続的で快適な動線～



### 【シェルター(上屋)】

シンプルで明るいデザインとし、各交通機関の乗降場まで、雨に濡れずに快適に移動できる。

バスやタクシーなどの乗降時になるべく雨に濡れないよう、シェルターを車道側へ張り出し、高さをなるべく低くした形状とする。



## 4.デザインのイメージ ～③連続的で快適な動線～



# 4.デザインのイメージ ～③連続的で快適な動線～

**【自転車動線について】**  
 (前回意見の回答)

基本的には自転車動線上のみを走行してもらい、広場内は手押しによる移動とする。  
 自転車動線を少し広場内へ迂回させ、市電の乗車待ちをする人々に交錯しないようにする。

**【電停横断部について】**  
 (前回意見の回答)

市電降車が信号待ちで滞留することを回避するため、信号を通らず、シームレスに軌道を横断することが可能な横断帯を新たに設置する。

**【ペDESTリアンデッキについて】**  
 (前回意見の回答)

森都心プラザまでをつなぐペDESTリアンデッキ(歩道橋)に屋根を設置することを検討したが、技術的な問題により、十分な機能を備えた屋根の添架は難しいため、今後、広場完成後の歩行状況などを観察しながら、検討を続けていく。

**【身障者用駐車スペースについて】**  
 (前回からの変更点)

前回公表時のレイアウト案では、一般車整理場に身障者用駐車スペースを2台分設ける計画としていた。その後、より駅舎に近い、JR駅ビルの駐車場内に身障者用駐車スペースが設けられることが判明したため、白川口駅前広場には設置せず、新幹線口の駐車スペースを含めて、より利便性が高い計画に変更したもの。

- 【凡例】**
- : 歩行者動線
  - : 自転車動線

高架下商業等  
(検討中)

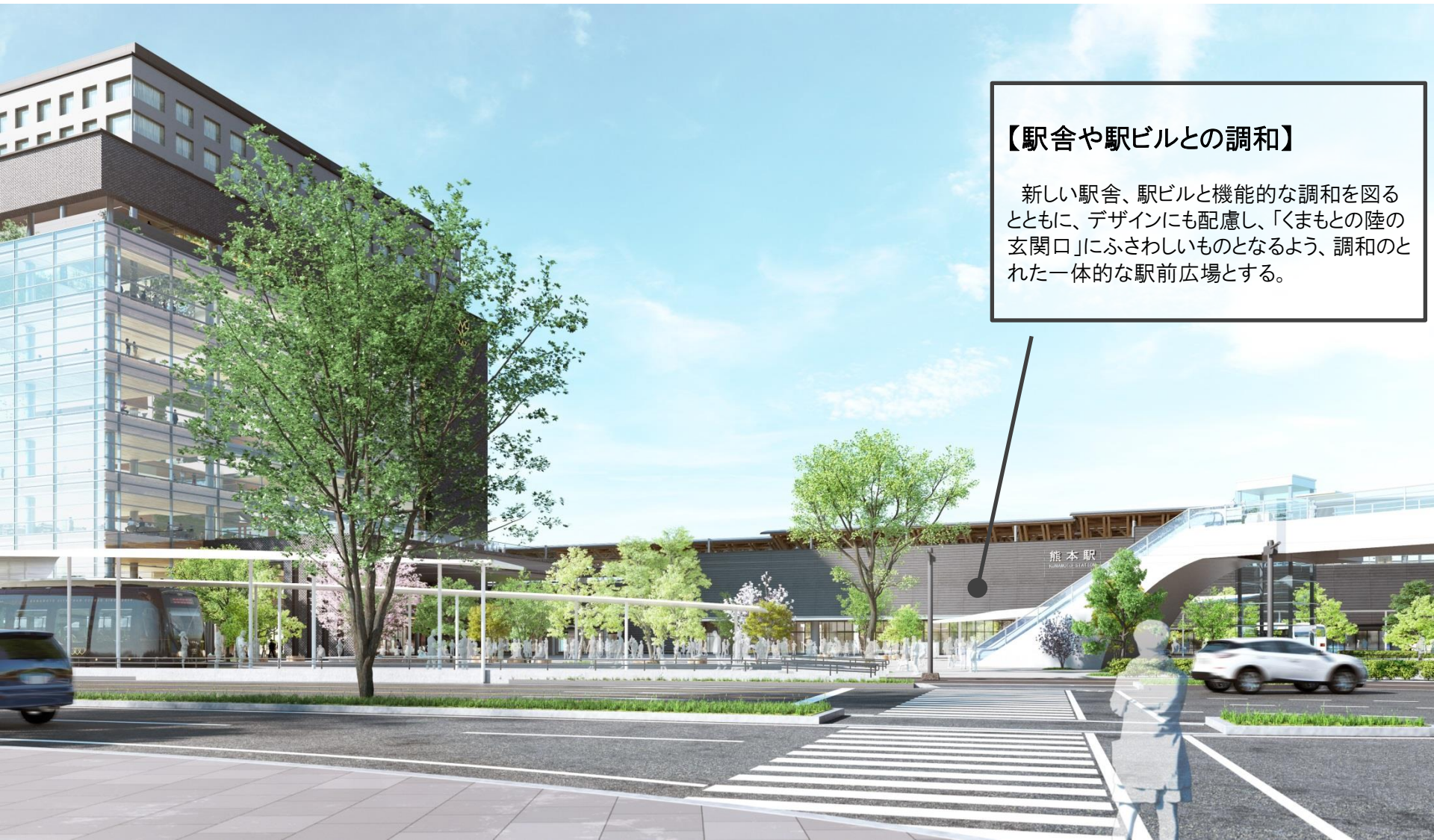
熊本駅施設

肥後

駐輪場



## 4.デザインのイメージ ～④駅舎、駅ビルとの調和～



### 【駅舎や駅ビルとの調和】

新しい駅舎、駅ビルと機能的な調和を図るとともに、デザインにも配慮し、「くまもの陸の玄関口」にふさわしいものとなるよう、調和のとれた一体的な駅前広場とする。



## 4.デザインのイメージ ～⑤くまもとらしさの表現～

### 【水景】

湧水や流れなど、熊本の水の豊かさが感じられるような、水景施設を配置する。  
子供たちが水遊びをすることができるなど、憩いと安らぎの空間を創出する。



湧水のイメージ



### 【植栽】

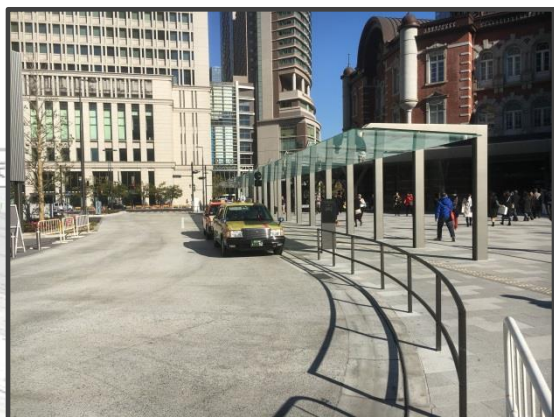
市電電停とイベント広場の間にまとまりと四季の変化が感じられる緑を配置する。  
また、「木立の景」に沿って、周辺街路へ緑が広がるように植栽を配置や樹種の選定を行う。



# 4.デザインのイメージ ～舗装～

## 【バス・タクシーゾーンの舗装】

多数の大型バスの往来に対して、長期的に耐えられるよう、耐久性の高い「半たわみ性舗装」を選定。色調は、広場部と近いものとする。



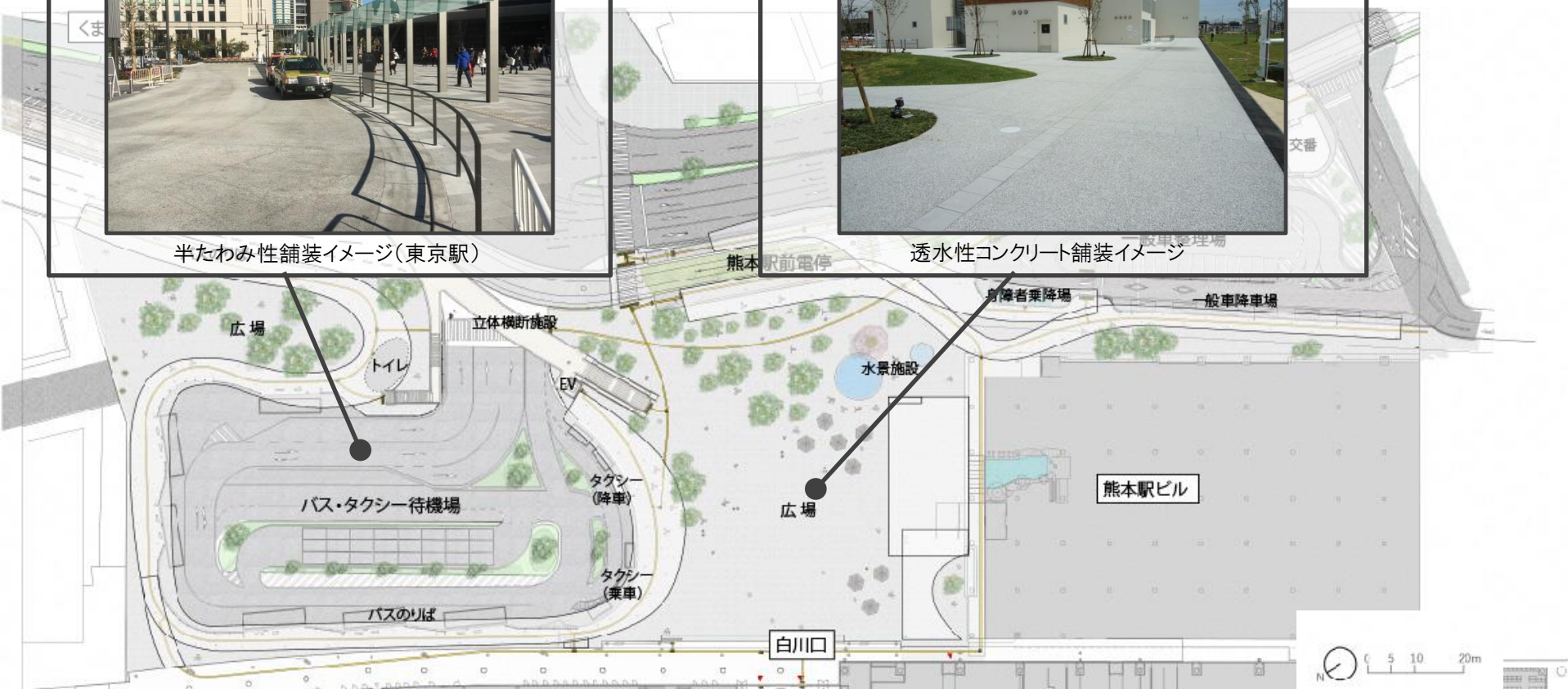
半たわみ性舗装イメージ(東京駅)

## 【広場の舗装】

全体的な広場の雰囲気考慮し、広場、歩道空間については「透水性コンクリート舗装」で統一する。耐久性が高く、維持管理費を抑制することが可能。



透水性コンクリート舗装イメージ





## 4.デザインのイメージ ～照明～

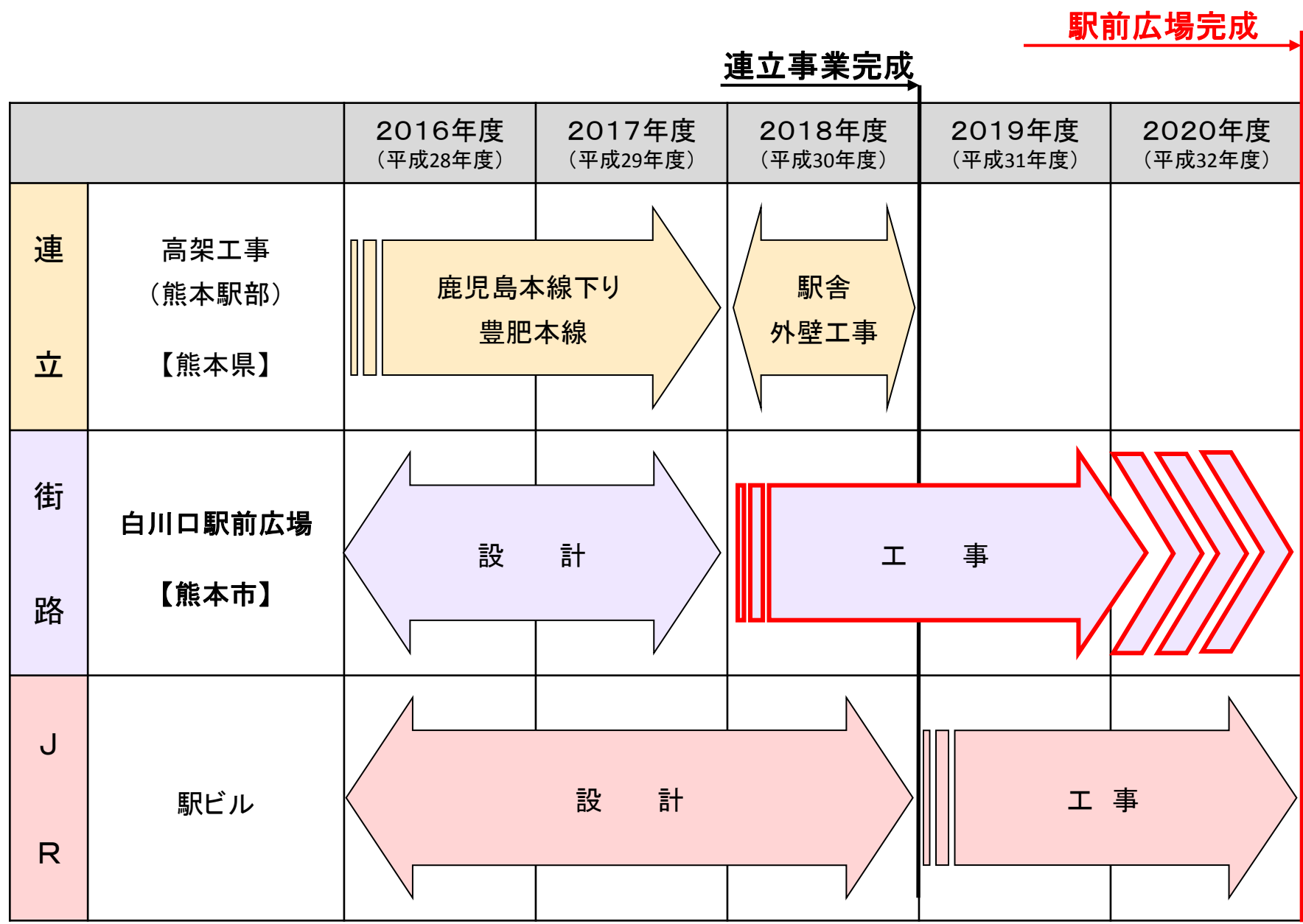


### 【照明】

動線上は、安全に歩行できるように一定の明るさを確保し、緩やかに光をつなげる。特に主動線となるビスタラインやシェルター下については、ユニバーサルデザインに配慮し、ムラの無い照度分布とする。  
また、駅ビルや駅舎の光環境と調整し、全体的に柔らかな明るさを感じられるような、落ち着いた駅前広場空間を演出する。

## 5. スケジュール

# 5.熊本駅周辺整備スケジュール(案)





# 質疑応答